

～平成28年12月議会定例会冒頭挨拶～（H28.12.5）

先ず、冒頭ではございますが、先日の佐賀新聞(12月2日付け)に掲載されました「ひじり学園給食に2センチ金属」と言う記事につきまして、これまでの調査、経過を説明させていただきます。

12月1日の中学部の生徒の給食に2センチくらいの細長い金属が混入しており、食べる前に生徒が見つけたという内容でございます。

健康には被害はなかったということで安堵したところではありますけれども、金属製のタワシのような破片ということですが、給食センターではそのような物は使っておらず、現在、杵藤保健福祉事務所や県からも指導を受け、納入業者も含め、調査中でございます。

このようなことは決してあってはならず、徹底的に原因を究明し、2度と繰り返すことのないよう再発防止に努めていく所存でございます。

ご心配をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

さて、今年は、町制80周年の記念すべき年の幕開けに始まり、夏の納涼祭りの折には、12年ぶりの花火大会を開催させていただきましたところ、沢山の皆様に楽しんでいただくことができました。

また、11月12日の町制施行80周年記念式典後の、第2部の「のど自慢大会」にも会場いっぱいの方々が応援に駆けつけていただき大いに盛り上げていただきました。有難く、感謝しているところでございます。

今年も、後わずかになりました。大町町では、幸い大きな災害や火災もなく1年が過ぎようとしております。

これも偏に、消防団をはじめとする皆様のご尽力と、日頃から防災、減災を意識して、日常を送っていただいている町民の皆様の心がけのお陰だと、感謝をしているところでございます。

しかし、思い起こせば、4月14日・16日と立て続けに、熊本地方で大きな地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。そして多くの方々の生命、財産が奪われました。改めてお見舞い申し上げる次第でございますが、

このような自然災害は、いつどのような形でやってくるか、まったく予測が付きません。

先般も、多久から神埼にかけての、佐賀平野北縁断層帯の存在がクローズアップされ、大町町の大部分で想定震度は7以上とされています。

このようなことも踏まえながら、私たちは日々、町民の皆様の生命財産に直結する防災という観点から、強い意識を持って、目配り気配りが必要だと思っておりますし、行政として公助の役割を果たしていかなければならないと考えているところでございます。

今後とも議員の皆様におかれましては、ご理解とご協力の程よろしくお願いを申し上げます。